

作成日 2003年10月6日
改訂日 2011年5月2日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	グリホスTM除草剤
会社名	CBC株式会社
住所	東京都中央区月島2-15-13
電話番号	03-3536-4753
緊急時の電話番号	03-3536-4753
FAX番号	03-3536-4743
メールアドレス	isago@cbc.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日
物理化学的危険性

H21.3.27、政府向けGHS分類ガイダンス(H20.9.5版)を使用

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	区分4
皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類対象外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
環境に対する有害性	
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境急性有害性	区分3

水生環境慢性有害性

区分3

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
軽度の皮膚刺激
眼刺激
吸入すると有害
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
吸入した場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクト
レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後
も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物/容器を適切な焼却炉で焼却するか、都道府県知事
の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質

単一製品、混合物の区分

混合物

化学名又は一般名

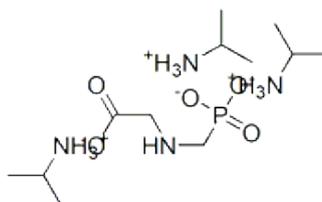
グリホサート、N-ホスホノメチルグリシン イソプロピルアミン塩

含有量

グリホサート … 41%
水、界面活性剤 … 59%

成分	CAS登録番	% (重量)
グリホサート イソプロピルアミン塩	38641-94-0	41.0%
界面活性剤		6.0%

化学特性
(示性式又は構造式)



官報公示整理番号
(化審法・安衛法)

化審法:(2)-3067
安衛法:

分類に寄与する不純物及び
安定化添加物

データなし

4. 応急措置

吸入した場合	データなし
皮膚に付着した場合	直ちに接触した部位の皮膚を石鹼水で洗う。
目に入った場合	直ちに多量の水で最低15分以上洗眼する。医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水または牛乳を飲ませて希釈する。医師の手当てを受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	データなし
最も重要な兆候及び症状	データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	水、泡、ドライケミカル及び炭酸ガス消火剤、他のB類消火剤
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	なし
特有の消火方法	蒸気ミスト又は本製品の燃焼物に暴露するおそれのある消防員やその他の人は、完全な防護服及び自給式呼吸装置を身につける。
消火を行う者の保護	データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	漏出時の除去にあたっては、ゴム製の長靴またはオーバーシューズの着用を含む防護及び安全上の注意を払う。[暴露防止措置]を参照。
環境に対する注意事項 回収・中和	データなし 床に漏出した液は隔離又はせき止めてベントナイト等の鉱物質に吸収させる。吸収した鉱物質を集め、金属製ドラムに入れ、廃棄上の注意の項に従って処分する。床をよく拭き業務用の強力な洗剤で水とともに洗浄する。漏出物が染み込んだ土は掘り出して、金属製ドラムに入れ廃棄上の注意の項に従って処分する。漏出した容器は漏出してない容器と分けて、容器とその内容物をドラム又は漏出しない容器に入れ廃棄上の注意に従って処分する。回収した漏出液も同様に処分する。
封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策	データなし データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	注意事項	眼及び衣服との接触を避ける。取扱い後は、石鹼と水でよく洗う。水域又は表流水及び平均満潮水位以下の潮間沼沢地に直接散布しない。廃液または散布器具の洗浄液を水域に流して汚染しないようにする。
	安全取扱い注意事項 局所排気・全体換気	データなし 『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の局所排気・全体換気を行う。
保管	技術的対策	施錠して保管すること。涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
	混触危険物質	データなし

保管条件	密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管する。
容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
OSHA PEL	未設定
ACGIH TLV(s)	未設定
日本産業衛生学会	未設定
設備対策	特別な対策は必要ない。
保護具	呼吸器の保護具 保護マスク
	手の保護具 データなし
	眼の保護具 特になし
	皮膚及び身体の保護具 特になし
衛生対策	データなし
その他	希釈していないグリホスを通常の方法で取り扱った場合、気中暴露の可能性は低い。製造時に多量の製品が露出した場合あるいは濃厚な蒸気やミストを発生するような作業に従事する時は、呼吸器の保護具を着用すること。適切な保護具の選択にあたっては、レスピレーター <small>レスピレーター</small> の製造メーカーに相談する。NIOSH/OSHAあるいはレスピレーター <small>レスピレーター</small> の製造メーカーの指定した使用範囲内で使用のこと。
製品ラベルに従った 希釈液の散布	レスピレーター <small>レスピレーター</small> は必要ではない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状	形状	粘稠液体
	色	透明
	臭い	無臭ないし、わずかなアミン臭
	pH	4.6
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		93.3°C以上
自然発火温度		データなし
燃焼性(固体、ガス)		データなし
爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
比重(密度)		1.17
溶解度		データなし
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし
粘度		データなし
粉じん爆発下限濃度		データなし
最小発火エネルギー		データなし
体積抵抗率(導電率)		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件において、少なくとも5年間安定
-----	-------------------------

危険有害反応可能性

なし。本製品はアルカリ物質と反応し、発熱する可能性がある。重合の可能性は無いが、酸アルカリ反応による中和熱を生ずることがある。

**避けるべき条件
混触危険物質**

なし

本製品及び溶液の混合、保存又は散布のためには、ステンレススチール、アルミニウム、ファイバーグラス、プラスチック又はプラスチックの内層の容器内で行うこと。メッキをした又は内層の無い鋼鉄製の容器又は散布器具(ステンレススチールを除く)を用いて混合、保管又は散布しないこと。これらの容器に、本製品を入れると引火性の水素ガスの混合気体を生ずることがある。この混合気体を生ずることがある。この混合気体は引火、爆発の可能性があり、裸火、スパーク、溶接火花、煙草、その他の火気により人身事故の要因となりうる。

危険有害な分解生成物

なし

11. 有害性情報

急性毒性 経口

ラットを用いた経口投与試験において、LD50: >5,000mg/kg
マウスを用いた経口投与試験において、LD50: >5,000mg/kg

**経皮
吸入**

ラットを用いた経皮投与試験において、LD50: >2,000mg/kg
吸入(ガス): GHS定義における固体である。

吸入(蒸気): データなし

吸入(粉じん): データなし

吸入(ミスト): ラット、LC50: >2.2mg/L(4h)

皮膚腐食性・刺激性

軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷・刺激性

中程度の刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作 データなし

皮膚感作性: モルモットにおいて、感作性なし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

水生動植物に対する影響

コイ; LC50: 25.4mg/L (48、96h)

オオミジンコ; LC50: 7.46mg/L (24時間)

その他

湛水水田条件におけるコイの毒性試験では、供試したどの濃度でも死亡は認められなかった供試濃度は通常の散布より生ずる濃度と同じかより高い濃度であった。試験期間は96時間であった。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

本製品使用に伴う廃棄物で使用に適さないか、または化学的に再利用できない物は、農薬の廃棄の許可されている合法的な方法で適切に処理すること。

汚染容器及び包装

空容器は製品の残留物が残っている。容器を洗浄するか廃棄するまでは製品ラベルの注意事項を守ること。本容器の近くで切断、または溶接作業を行わないこと。また、容器を再利用しないこと。処理前に、容器を3回以上洗浄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

普通物につき該当せず。

品名

なし

国連分類

なし

容器等級

なし

海洋汚染物質

なし

注意事項

取扱い保管の項の注意事項及び除草剤の一般的注意事項を守ること。

15. 適用法令

農薬取締法

除草剤 農林水産省 登録 第19276号

化審法

既存化学物質 N-(ホスホノメチル)グリシン

化学物質管理促進法(PRTR法)

PRTR法における第一種又は第二種指定化学物質に該当する化学物質は含まず。

16. その他の情報

農薬の使用、保管及び廃棄については、製品ラベルに従うこと。また、使用保管及び廃棄についての必用にして適切な注意事項は製品ラベルに表示されている。製品ラベルに表示されていない方法による使用は脱法行為である。